



# 平和首長会議ニュース

2022年7月 / 第151号

## 平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,188** 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を目指しています!**

日本国内加盟自治体数 : 1,737

(2022年7月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック!

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

f フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね!」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆ 核兵器禁止条約第1回締約国会議等に出席しました
- ◆ 第10回平和首長会議総会への出席申込を受付中です
- ◆ 「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022」— 作品を募集しています
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,188自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2022年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について
- ◆ 映画の紹介:ドキュメンタリー映画「8時15分ヒロシマ 父から娘へ」

## ■核兵器禁止条約第1回締約国会議等に出席しました

平和首長会議は、6月にオーストリア・ウィーン市で開催された核兵器禁止条約第1回締約国会議と核兵器の人道的影響に関する国際会議へ松井会長（広島市長）、田上副会長（長崎市長）、小泉事務総長を含む代表団を派遣し、国連・各国政府関係者等に、非人道的な結末をもたらす核兵器に対する強い懸念を訴えるとともに、核兵器廃絶に向けた議論を前進させるための努力を求めました。また、平和首長会議及びICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の共同サイドイベントや、平和首長会議原爆ポスター展を開催し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた気運を醸成しました。

核兵器禁止条約締約国会議の初日に行われた一般討論でのスピーチで、松井会長は、国連を始め、各国や市民社会が一丸となり、核兵器禁止条約を実効性のあるものにするため、同条約を批准する国、とりわけ非核保有国を増やすことにより、核保有国に核兵器の非人道性と核兵器管理の不確実性に対する認識を深めさせることが急務であると訴えました。さらに、平和首長会議や広島・長崎両市の取組を紹介し、来年広島で開催されるG7サミットへの期待を表明するとともに、核被害者援助の充実も含めて同条約の目標達成を呼び掛けました。田上副会長は、ウクライナ危機の中、核兵器の使用の危機にさらされている今だからこそ、この条約の意義が非常に大きくなっていると述べ、被爆者が訴えてきた「長崎を最後の被爆地に」を合言葉に、「核兵器を絶対に使わせない」という共感の連鎖を世界中に広げていくことを呼び掛けました。



🔗 核兵器禁止条約第1回締約国会議における会長・副会長スピーチ  
会長（広島市長）：[日本語訳](#) ・ [英語原文](#)  
副会長（長崎市長）：[日本語訳](#) ・ [英語原文](#)

また、核兵器禁止条約締約国会議等への出席の機会を捉えて、各国政府や国連、関係機関の代表者と面会し、核兵器を巡る国際情勢に関する意見交換を行い、核兵器禁止条約の批准国拡大に向けた市民社会の世論醸成のため、平和首長会議の取組に協力いただくよう依頼しました。

平和首長会議は今後、核兵器禁止条約の普及や実効性確保に向けて市民社会の世論を醸成するため、条約推進国を始め、国連やNGO等と協力して、加盟都市と共にPXビジョンに掲げる「平和文化の振興」に更に力を入れていきます。

🔗 ウィーン市滞在中の平和首長会議代表団の活動の詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-220715-2/>

## ■第10回平和首長会議総会への出席申込を受付中です

6月20日にEメールでご案内したとおり、10月19日（水）及び20日（木）に広島市で開催する第10回平和首長会議総会への出席申込を受付中です。

本総会への出席をご検討いただき、申込受付サイトより、8月26日（金）までにお申込みください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

🔗 開催案内や申込受付サイト等の詳細については、平和首長会議ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-220610-2/>


=====  
■「子どもたちによる”平和なまち”絵画コンテスト2022」— 作品を募集しています  
=====

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2022を実施し、作品を募集しています。


- 募集部門:①「6歳～10歳の部」  
②「11歳～15歳の部」
- 応募点数:  
1都市につき各部門最大5作品まで
- 提出期限:2022年10月31日 17時
- 作品提出・問い合わせ先:  
(Email) [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)



たくさんの応募をお待ちしています。

 絵画コンテストの詳細については、平和首長会議のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-220420-2/>

 2019年から2021年のコンテストで入賞した作品を紹介するビデオを作成しました！（英語キャプション）

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-220719/>

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

**是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。**

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,188自治体**  
=====

7月1日付で、14自治体が加盟し、加盟自治体数は8,188都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	合計	備考
カナダ	サン・コンスタン	111	
ドイツ	バート・ベルツィヒ等 10都市	826	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
イタリア	イヴレア	518	理事都市及びリーダー都市であるチエルヴィア市の呼び掛けにより加盟。
スペイン	シャロ	400	
英国	ランカスター	86	副会長都市及びリーダー都市であるマンチェスター市の呼び掛けにより加盟。



**加盟都市数 10,000都市 を目指しています！**

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

7月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-2206-newmembers2207\\_jp-1.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-2206-newmembers2207_jp-1.pdf)

加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF)

[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf)



=====  
**■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

昨年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX\\_Vision\\_Action\\_Plan.jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf)

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====  
**■平和教育の取組事例を募集しています**  
=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)  
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

 被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード：  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/tree/>

=====  
**■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2022年版「世界の核弾頭データ」ポスター解説①**  
=====

前回紹介したように、2022年6月現在、核保有9か国の核弾頭数は12,720発と推定されます。国別では、米国(5,425発)、ロシア(5,975発)、中国(350発)、フランス(290発)、英国(225発)、インド(160発)、パキスタン(165発)、イスラエル(90発)、北朝鮮(40発)です。9か国のうち、米国、ロシア、中国、フランス、英国の5か国は、核不拡散条約(NPT)上で「核兵器国」と定義されています。インド、パキスタン、イスラエルの3か国はNPTの枠外で核保有を続けています。北朝鮮は2003年にNPT脱退を宣言し核保有に進みました。

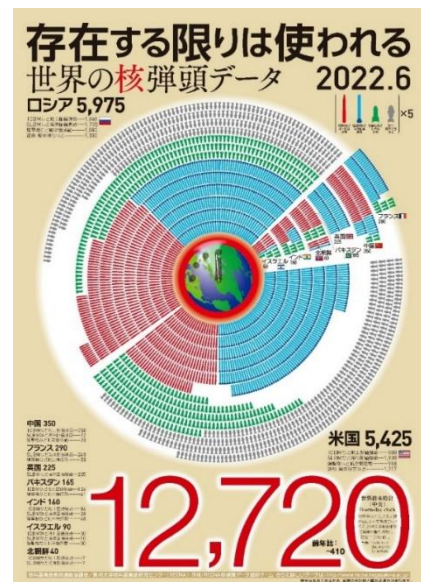
核弾頭の総数については、引き続き減少傾向にあります。ピーク時(1987年)に7万発近くが存在した核弾頭は、冷戦が終わって大幅にその数を減らしました。そのほとんどが、2国あわせて総数の9割以上を占める米国とロシアの二国間合意による、あるいは一方的な削減措置によるものです。

しかし、自国の安全保障には核兵器が不可欠と考える米ロ両国の基本姿勢は変わっていません。むしろ二国間、さらには中国を含めた三つ巴の緊張と対立が続き、核軍拡競争が再燃しています。両国はともに、老朽化が進んだ冷戦時代の核兵器システムのアップグレードを図ろうと、莫大な予算を投じた近代化計画を進めています。さらには近代化の枠を超えて、最先端の軍事技術を使った新型兵器の開発・配備も加速させています。米ロの溝が埋まらず2019年8月に失効した中距離核戦力(INF)全廃条約をはじめ、二国間・多国間の軍縮・軍備管理体制にも大きなひびが入っているのです。

(次号に続く)

もっと詳しく知りたい方は [RECNA のホームページ](#)をご覧ください。

2022年版「世界の核弾頭データ」ポスター



長崎大学核兵器廃絶研究センター  
(RECNA)提供  
RECNA核弾頭データ追跡チーム作成

=====  
**■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第93回)**

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]  
=====

先月、オーストリアのウィーンで核兵器禁止条約の記念すべき第1回締約国会議が開かれました。それに合わせて、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が主催するフォーラムや、オーストリア政府主催の核兵器の非人道性を議論する会議もありました。

日本からも、平和首長会議の会長として広島市の松井一実市長、長崎市からは田上富久市長が締約国会議で演説したのをはじめ、被爆者、若者、市民が大勢ウィーンで活動しました。しかし締約国会議に「オブザーバー参加」できるはずの日本政府は不在。この条約に日本政府が関与する見通しはなかなか立たない現実を、改めて痛感させられました。

それでも、希望を失ってはなりません。核兵器禁止条約とともにとても重要な多国間の軍縮条約である核拡散防止条約(NPT)の再検討会議は、8月の開幕が目前です。困難であっても、前回の2015年に続く決裂を避ける努力を怠ってはならない、と市民から発信していかなければなりません。核兵器禁止条約が定める「被害者援助」をどのように具体化するのか、締約国をどう増やしていくのか、取り組みはこれからです。一步一步、前に進む決意を、77年後の「あの日」がもうすぐ巡ってくる今、新たにしたいと思えます。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

被爆者12万人下回る 厚労省まとめ 平均年齢84・53歳

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=121128>

核兵器廃絶へ宣言採択 50項目の行動計画も 禁止条約会議閉幕 被爆者の「貢献」に敬意

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=120643>

小頭症被爆者たち「戦争なくなって」川下さん 国際会議で声上げる

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=120396>

国際交流拠点WFC 館長・理事長とも交代 平和発信 心新たに誓う

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=120405>


消えない苦しみや不安 原爆は、人間らしく生きることも許さない 被爆者木戸さん 政府の姿勢批判も

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=120472>

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について**

核兵器禁止条約は昨年1月22日に発効し、現在66か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙

<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

=====  
**■映画の紹介:ドキュメンタリー映画「8時15分ヒロシマ 父から娘へ」**  
=====

平和首長会議は、「平和首長会議行動計画(2021年ー2025年)」において、推進する取組の一つとして「被爆や戦禍の実相の発信・共有」を掲げています。より多くの市民に、被爆者の体験と核兵器廃絶に向けた切なる願いを受け継ぎ、行動してもらうきっかけとなる映画をご紹介します。

タイトル:8時15分ヒロシマ 父から娘へ  
監督:J.R.ヘッフェルフィンガー  
(50分、英語・日本語)

1945年8月6日、ヒロシマを生き抜いた少年が父となり、現代を生きる娘に伝えた思い。未来を担う若い世代に伝えたい永遠のメッセージ。

至近距離の屋根上で被爆した父・進示と祖父・福一の壮絶な体験と教えを、娘・美甘(みかも)章子が丹念に聞き取り英語等で書籍化し、アメリカで映画化した作品。



画像提供:美甘章子

戦争の愚かさ、原爆の残酷さを直に訴えるとともに、その地獄の様な状況にあっても、生きることを諦めなかった父の想いと、40年後に起こった事件から導き出され、父から娘へしっかりと受け継がれた、世界の平和を叶えるための大切なメッセージを紐解いていく。

 2022年8月6日～9日、無料グローバル配信(特設ウェブサイト):  
<https://watch.showandtell.film/watch/815hiroshima>

\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

### 平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

### 【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉   
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉   
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！